

令和7年第11回教育委員会会議

1 日 時

令和7年8月29日(金)

開会 10時30分

閉会 10時50分

2 場 所

県庁行政庁舎 17階 教育委員会室

3 出席者

酒井雅洋教育長、新屋長二郎委員、眞鍋知子委員、新家久司委員、高野勝委員、辻奈穂子委員

4 説明のため出席した職員

塩田憲司教育参事、山本一彦教育次長、村本治男教育次長、北島公之教育次長、筒井諒太郎教育政策課長、高倉英明教職員課長、樋口勝浩学校指導課長、小山内裕之生涯学習課長、原田仁史文化財課長、黒坂昭弘保健体育課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第25号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について（原案可決）

6 審議の概要

・開会宣告

酒井教育長が開会を告げる。

・質疑要旨

以下のとおり。

議案 25 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について（筒井教育政策課長説明）

それでは、議案第 25 号、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」について、別添資料をご覧ください。

本議案につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条において、教育委員会は、所管する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、公表することとされておりますので、その内容をお諮りするものであります。

なお、この報告書の作成にあたり、教育委員の皆様方にご意見をお聞きしたほか、学識経験を有する方として、金沢美術工芸大学の桑村教授、金沢大学の原田准教授のお二方から、点検評価に対するご意見をいただき、報告書に反映させております。

それでは、概要につきまして、（新規・拡充事業を中心に、）お手元の報告書（案）で概要をご説明させていただきます。

1 ページをお願いします。

まずは、「1 令和 6 年能登半島地震への対応」であります。

3 ページをお願いします。

「学校施設等の災害復旧」につきましては、能登地域を中心に甚大な被害が発生した県立学校の復旧工事を 37 校で実施し、本復旧に向けた実施設計や、仮設校舎の整備を進めたことなどを記載しております。

次に、「被災文化財の保全・修復」につきましては、被災した文化財の被害状況調査や救出を文化庁と連携して実施したほか、国・県指定、国選定文化財の修理に対して補助を行い、金沢城石川門・金沢城跡の災害復旧工事に着手したことを記載しております。

4 ページをお願いします。

「輪島漆芸技術研修所の復興に向けた研修環境の充実」につきましては、寄附金を原資とする基金を造成し、寄宿舎整備への着手を行ったことを記載しております。

5 ページをお願いします。

「2 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成」であります。

8 ページをお願いします。

「県立高等学校における情報・理数教育の推進」につきましては、高校生の興味関心を高めるため、ICT機器の導入などにより情報・理数教育の推進を行ったことを記載しております。

「高校生の海外留学促進」につきましては、（本県の産学官の団体等により構成する協議会を設立して、）企業からの寄附金を活用し、産学官連携による高校生等の留学を支援したことを記載しております。

10 ページをお願いします。

「3 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成」であります。

15 ページをお願いします。

「いしかわ特別支援学校と明和特別支援学校の教育環境の向上」につきましては、金沢向陽高校の敷地内に令和 5 年度から建設していた、いしかわ特別支援学校高等部の新校舎が、本年 2 月に完成したほか、本年 4 月の開校に向けて、充実したインクルーシブ教育を進めるため、特別支援学校と金沢向陽高校の生徒が、日常的に交流できるよう試行したことを記載しております。

18 ページをお願いします。

「4 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり」であります。
22ページをお願いします。

「全国高等学校総合文化祭の開催（R9年度）に向けた準備」につきましては、令和9年度の本県大会に向けて、開催日程や会場について検討を進めるとともに、生徒準備委員の企画・運営による1000日前PRイベントの開催などを行ったことを記載しております。

25ページをお願いします。

「5 信頼される質の高い学校づくり」であります。

27ページをお願いします。

「県立夜間中学「あすなる中学校」の開校（令和7年4月）に向けた準備」につきましては、入学者の募集準備のほか、金沢中央高等学校内に設備の整備を実施したことを記載しております。

28ページをお願いします。

「教職員の多忙化改善に向けた取り組み」につきましては、スクール・サポート・スタッフやICT支援員を配置するほか、新たに教頭マネジメント支援員をモデル配置しました。

また、国において、令和5年度から7年度を、休日の部活動の地域移行を進める「改革推進期間」とされたことを受け、公立中学校の部活動の地域移行に向けた市町の取り組みを支援したものであります。

さらに、テスト等の採点・集計業務の時間短縮のため、全ての全日制高等学校で採点業務省力化ソフトを使用したことを記載しております。

33ページをお願いします。

「6 学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による教育力の向上」であります。

「家庭教育の充実」につきましては、翌年度に小中学校へ入学する子どもを持つ保護者に対し、規則正しい生活リズムの重要性や、発達段階を踏まえた子どもとの関わり方などを掲載した「親学びの冊子」を作成・配布し、家庭の教育力の向上を図ったことを記載しております。

35ページをお願いします。

「7 生涯にわたり学び続ける環境づくり」であります。

「県民大学の充実」につきましては、多様化する県民の学習ニーズに応えるため、824の講座を開設し、開校以来の修了生は、延べ21,429名に達したこと、子育て世代を対象とした、「ファミリー・カレッジ in 本多の森」を開催するなど、若い世代の学習機会の充実と生涯学習の振興を図ったことを記載しております。

36ページをお願いします。

「8 文化財の保存・活用」であります。

「金沢城の調査研究」につきましては、二の丸御殿に重点をおいた研究を進めたほか、能登半島地震による石垣の被災に関する委員等による現地調査や検討会を開催したことを記載しております。

38ページをお願いします。

「文化観光・食文化の推進」につきましては、金沢市を中心に県内に広く普及し、国内外で高く評価されている「加賀料理」の無形文化財登録を目指し、加賀料理を提供する料理店への現地調査を実施したことを記載しております。

39ページをお願いします。

「9. ライフステージに応じたスポーツ活動の充実」であります。

「全国中学校体育大会の開催」につきましては、昨年8月に、北信越ブロック（福井、石川、富山、長野、新潟）で全国中学校体育大会が開催され、本県では、水泳、サッカー、ソフトテニスの3競技が行われました。

大会の円滑な実施に向け、実行委員会の運営に対して支援したものであります。

43ページをお願いします。

「教育委員会会議及び教育委員の主な活動」であります。

「1 教育委員会会議」につきましては、令和6年度は17回開催し、議案45件、報告事項42件について教育委員の皆様へ、精力的にご審議やご意見をいただきました。

その下の「2 教育委員の主な活動」につきましては、委員の皆様には、大変お忙しい中、年間を通して積極的に活動いただきました。その一覧表でございます。

44ページからは、審議された議案や報告事項について、最後の47ページにつきましては、教育委員会の（令和6年度）当初予算の概要を記載しております。

以上で説明は終わりますが、本日、審議いただいた後、議会へ報告書を提出するとともに、ホームページに掲載し、公表することとしております。

【質疑】

（新屋委員）

長い間、こういった報告書を作り、議会へ報告し、ホームページに載せているわけですが、それに対する反応というのはどの程度あるものでしょうか。

（筒井教育政策課長）

作成にあたっては、有識者の方からいただいたご意見等も反映させております。その中でいただいた課題等については、各課で工夫して実施しているような状況です。

（新屋委員）

例えば今後の方向性というか、僕はこういうふうにしてもらいたいとか、こうした方がいいんじゃないとか、そういう外部からの意見はあるのでしょうか。

（筒井教育政策課長）

私もすべて網羅的に把握しているわけではありませんが、ホームページを見て、何か意見を寄せるといったことはほとんどないと思います。

もし、ホームページをみてご意見等があれば適宜、担当課に連絡を入れて対応をお願いすることになります。

（高野委員）

35ページの生涯にわたり学び続ける環境づくりのところ、県民大学校に関して、能登分室は災害関係の拠点となっているために会場を他に移し、2講座を実施となっており、今後の方向性に関しては触れられていませんが、今後もこのような方法で実施していくということによろしかったでしょうか。

（小山内生涯学習課長）

能登分室には被災した関係者の方がいる関係で、その会場はなかなか使用できないのですが、出前講座などで各市町に出向いて講座を積極的に行っていこうと考えています。

(高野委員)

能登分室もそういうかたちで今後講座を行っていくのなら、そのように記載していただかないと、能登分室ではあまりしないというふうに思ってしまうので、今後の方向性なども記載していただけたらと思います。

(眞鍋委員)

41ページの県基礎学力調査で、「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校や地域の図書館に週1回以上行く」と回答した児童生徒の割合が、基準値と比べて実績値がかなりポイントを減らしていて、達成率も半分ほどということで、例えば、一人一台端末で電子書籍を読むようになったからなど何か理由があるのでしょうか。

(樋口学校指導課長)

すべての小中学校に確認したわけではありませんが、確認したところ、委員がおっしゃられたとおり、電子書籍になっていたり、本をとということになった場合に生徒にとっては電子書籍は本ではないととらえる部分もあったりして、数値が低くなったのではないかという報告を現場からは受けています。

(眞鍋委員)

読書量が減っていると一概には言えないということですね。

(辻委員)

19ページの4(2)について、いじめ対応アドバイザーの方とか、SOSテレホンといった記載がありますが、今、石川県でいじめなどの件数は上がっているのか、このような取り組みにより下がってきているのでしょうか。

(樋口学校指導課長)

いじめについて認知している件数は増えてきています。それはこのような取り組みも含めて学校にしっかりと小さなことなども含めてちゃんと確認し、いじめとして捉え、ひどい状態にならないうちにしっかりと対応していきましょうと学校側には伝えているからで、数的には増えてきていますが、それは先生方がしっかりと問題として捉え、関係機関と連携して対応にあたっているものと認識しております。

(酒井教育長)

採決を行う。

(各委員)

異議なし。

・閉会宣言

酒井教育長が閉会を告げる。